

科目名	公民 I Civics I			担当教員	山岡健次郎			
学 年	2 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	16220016	単位区別	履修	
学習目標	自己と社会との関係性を倫理的観点から考察していく。そのさい、「他者」、「自然」、「宗教」、「科学」といった問題性に着目する。過去の哲学者・思想家の思索に触れることで、多様なものの見方を身につけ、具体的な問題を自分自身で考える力を養うことを目指す。							
進め方	教科書および担当教員の作成する資料をもとにして、講義形式で進める。 テーマを設定し、討論も交えながら、倫理的問題に対する視角を深めていく。 なお、定期試験のほかにも適宜レポートなどの課題も課していく。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. 「倫理」とは (2) 2. 青年期の課題と自己形成 (2) 3. ギリシャ思想 (6) (1) ソクラテス (2) プラトン (3) アリストテレス 4. 事例研究 (4) ----- [前期中間試験] (1)			自己への問いかけを通して、自分自身を見つめ自分たちを取り巻く様々な環境の中で、他者と共に生きる大切さを理解させる。 A1:3 哲学の起源をたどる。 A3:2				
	5. 答案返却・解答 (1) 6. 世界の宗教 (10) (1) ユダヤ・キリスト教 (2) 仏教 (3) イスラム教 7. 事例研究 (4) 前期末試験			古代宗教に対する理解を深める。 A3:1,2 現代社会の中で生じている様々な倫理的課題を理解する。 A1:1,2 A3:1,2				
	8. 答案返却・解答 (1) 9. 中世から近代へ (2) 10. 経験論と合理論 (8) (1) ベーコン (2) デカルト (3) スピノザ (4) ヒューム 11. 事例研究 (4) ----- [後期中間試験] (2)			近代科学の誕生と科学の発展がもたらす問題について考察する。 A3:1				
	12. 答案返却・解答 (1) 13. カントの哲学 (4) 14. 功利主義者たち (4) 15. 善く生きるために (2) 16. 事例研究 (3) 後期末試験			善く生きることの意義について考察する。 A3:1				
	17. 答案返却・解答 (1)							
	評価方法	定期試験 (90%)、提出物 (10%) によって評価						
	履修要件	特になし						
関連科目	公民 II (3 学年)							
教 材	教科書：『倫理』東京書籍							
備 考	特になし							